

愚者の石板

愚痴の石板

なんでん屋

愚者の石板

愚痴の石板

# 目次

常識男

愚者女

愚痴をいう者

サタンという者

サタンに感化されるな！

真似師

がんばります！

魔族には気をつけろ

自然休息

愚痴を言う人

## 常識男

何事もすべて常識で判断し、常識で行動する。

こういう人は、人の情が全くわかっていない。

困った時に参考として聞くだけの人。

全く前向きではないため、あまり参考にならない。

しかし、日々の常識と情報なら参考になる人だ。

## 愚者女

思いついたことが、ポンポンと口から出てくる。

普段不満に思っていることだろうが、常識で考えると言いたくなる。

およそ、声はカン高い口調、聞いていて不愉快。

不満を晴らしたいのはわかるが、もっとトーンを下げると言いたい。

## 愚痴をいう者

愚痴、不満を言っでは、周囲の人を不快にさせる人。

本人は、すべてを言いきって満足だろうが、周りは非常に迷惑。こういう人を宗教では、サタンという。

## サタンという者

そばに来ては耳元でささやく、決していい情報ではない。

同調してくれというように、不平不満を言う。

よくいじめられているとすぐ言う。

その反面、やっつけてやるとも言う。

よく、あーダメだ、と独り言を言う

聞いていて嫌気がさしてくる。

少しは黙っている！と言いたい。

**サタンに感化されるな！**

ふだんは情の事ばかり口から出る。

普通の人は情があってもその言葉を口にしない。

慣れさせられると、うまい話や自慢話ばかりする。

そのうち、友達感覚にさせられる。

このやり方は、うまい。

しかし、こういう人といると運が下がります。

マイナス思考ばかり考えるようになる。

反面、うまい話ばかり考えるようになる。

だから、感化されてはいけない。

## 真似師

芸能人のマネをして、思いついたことを言うのが可愛いと勘違いしている。

タレントは、ステージの雰囲気を読んで即興を演じている。

我々は、ただそれをテレビで見ているだけ。

参加してはいないのだ。

我々は我々で、今いる場の雰囲気を感じ、即興で表現する。

これを真似ればよいが、どうしてもタレントのマネがしたいようだ。

オリジナリティがなければ、絶対人気者になれない。

マネは、所詮マネ、勘違いも程々に。

がんばります！

一番信用できない言葉。

物事ではなく、感情に対して意気込むのは、筋違い。

具体的に、何をいつまでにやります。

この言葉が欲しい。

物事の結果が欲しいのであって、意気込みなんか聞きたくない。

だから、一番信用できないのである。

本人は、それで満足しているのだろう。

責任感が全くないと感じ取れてしまう。

困ったものだ。

## 魔族には気をつける

そいつと話すと、運が落ちたり、ずっとムカムカしたり、悪いことがよく起きたり、良いことがほとんどない場合、そいつは魔族の一味であることが多い。



漫画のドラゴンボールの魔族とは違うが、マイナス思考のかたまりで、お得なことや幸運なことばかり考えている種族のこと。

お近くに一人以上いると思う、どうだろうか？

過去話を思い出せばわかるだろう。

話をしている魔族はお得な情報しか聞いてこないし、こちらの心を向上させるような助言は一切ない！

こちらの失敗談も笑い飛ばし、高笑いするだけで、全くフォローがない。

さらに、根掘り葉掘り聞いてくる。

すべてを白状しろといわんばかりに。

まさしく、魔族であると言えよう。

見ただけで気分が悪くなると思うが、いい気分できると近くに現れてくる。こちらの心が読まれているようだ？

本当は読んではいけないのだけれども、魔族は気分がよくなる場所へ移動するよ  
うだ。

だから、そばによってくる。

怒ることもできないので、無視するか、退散するしかない。

その場にいれば、話しかけてくるぞ。

絶対に！

そして、ひとりになってニヤニヤしているはず。

解決法は、

苦しかったり、モヤモヤ、ムカムカした場合、はけ口を見つけなさい。  
専用の日記に、書き留めなさい！（魔族日記とか）  
さすれば、すべてを忘れるであろう。

ここまで言うと思いつくだろうが、上司を魔族だというと怒るぞ！

上司は、わかっていて魔族になりきっているだけだから。

そこはわかってやろう！

うちの奥さんもね。

魔族が役職にない平社員に多いことも、付け加えておこう。

## 自然休息

通常、顔をあげて景色を見たり、ぼんやりして休息をとっているはず。

それが、一瞬で心の内が変わる。

それは、人の目を見るやつ。

体全体を一瞬でみるなら良いが、仲間を見つけたくて、人の顔ばかり探しているやつ。

スキンシップが嫌いなのか、人ばかり観察している。

仲間が欲しければ、スキンシップすれば良いのと思う。

本当に、一番嫌いな輩である。

心の中は、仲間が欲しくてたまらないのだろうが、休息している時にかぎって目が合う。

ふつう、目を逸らしてしまうものだが、それだけで相手がどういう人間かわか

ってしまうので、嫌気を感じる。

暇だから人間観察してるやつもいる。

自分が人間観察されているのもわからないようである。

本当に、はた迷惑である。

話は元に戻って、休息とは何も考えないこと。

そうするには、顔を正面に見据え、周りを見る行為になる。

休んでいるのだから、ほっといてほしい。

愚痴を言う人

自分自身で行動を起こし、理不尽でも納得する人は、人に文句を言わない。

国が悪いとか、地方公共団体が悪いとか、あの会社が悪いとか、あの人が悪い。

などの愚痴を言わない人。

逆に愚痴を言う人は、野球ファンの評論家に多い。

自分より立派な選手なのに、あの投手はだめだとか、あの打者は打たないとか。テレビに出ている人を、自分より格下だと思っている。

過酷な努力をして一流になったのを、まったく判っていない。

テレビ・ラジオの解説者は、仮にも一流選手だった人。

その人なら批判しても許される。

一般人が批判する資格は無い。

そういうことで、ずいぶん前からテレビで野球を見なくなつた。

いまは、試合の結果もまったく興味が無い。